

カサナレ、FINOLAB 主催「FINOPITCH 2026」ファイナリストに選出
国内外 22 社の有力スタートアップとして登壇

カサナレ株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役：安田 喬一、以下「カサナレ」）は、『現場から未来をつくる』をビジョンに、業務のリアルからイノベーションを生み出すことを目指しています。

この度カサナレは、株式会社 FINOLAB（本社：東京都千代田区、代表取締役：山本 寛、以下 FINOLAB）が主催する、FinTech スタートアップによるグローバルピッチコンテスト「FINOPITCH 2026」において、国内外 22 社のファイナリストの一社に選出されました。



FINOLAB主催「FINOPITCH 2026」ファイナリストに選出



■FINOPITCH 2026 ピッチコンテストおよび授賞式 概要

日本初の FinTech ピッチコンテストである FINOPITCH（当初の呼称 FIBC）は、今年で 14 回目の開催となり、日本を代表する国際的なイベントとなっています。コンテストでは、一次審査を通過したファイナリストが 7 分間のピッチを行い、審査員の採点や視聴者投票を通して優秀なサービスを表彰します。これまでに、日本の FinTech スタートアップを代表する企業を含め、国内外のべ 240 社以上の FinTech スタートアップが登壇しています。

イベント公式サイト：<https://4f-otmcblg.tokyo/2026-jp/>

開催日時：2 月 26 日（木）10 時～20 時

開催場所：銀座能楽堂（GINZA SIX 地下 3 階）

審査員：一般社団法人 金融革新同友会 FINOVATORS

アワード：大賞、サポート賞、オーディエンス賞

アジェンダ：10:00～12:20 講演/パネルディスカッション等

13:00～18:30 FINOPITCH

18:30～20:00 Meetup

参加登録：<https://finopitch2026.peatix.com/>

4 F 概要：<https://4f-otmcblg.tokyo/2026-jp/>

■登壇の背景と目的

近年、当社が支援する金融機関においても、生成 AI 活用は PoC 段階から実運用フェーズへと移行しつつあります。一方で、誤答リスクや説明責任、既存システムとの整合性など、高い信頼性が求められる領域特有の課題も顕在化しています。

カサナレは、こうした金融現場において、

- ・業務に適合する AI の個別設計
- ・正確性を担保するデータ整備・運用設計
- ・導入後も改善を続ける「育てる AI」としてのアプローチ

を強みとし、金融機関との実装プロジェクトを重ねてきました。

本イベントは、国内外の金融機関・FinTech 企業・投資家が集う国際的なイノベーション創出の場であり、当社にとつても金融領域における取り組みを広く発信し、新たな協業・共創機会の創出につなげる重要な機会と位置付けています。

■登壇者

カサナレ株式会社 経営企画室長 武方 浩太朗

新卒で総合商社の伊藤忠商事に入社。スタートアップ投資や事業投資/開発等の経験を経て、北米のアクセラレーターである Plug and Play Japan のスマートシティ領域にて、スタートアップの事業開発支援に従事。その後、シードステージのスタートアップで COO として経営戦略策定、管理体制構築等を牽引した後、カサナレへ参画。経営企画室長及び管理部門長として経営企画・経営管理を統括。



カサナレ株式会社について

カサナレ株式会社は、「現場から未来をつくる」をビジョンに掲げ、企業の知的資産を継続的な競争力へと変えるスタートアップです。独自のフィードバックシステムにより、AIの精度が自動で改善される自己進化型の仕組みを実現。さらに、複数のAIが連携して稼働するAIオーケストレーションを支える基盤を構築することで、エンタープライズ企業を中心に導入実績を拡大しています。

2025 年には『Forbes JAPAN's AI 50』『Japan Financial Innovation Award』にも選出されるなど、注目のスタートアップとして高い評価を受けています。